

日銀神戸
支店長の
視点

竜田博之氏



日本銀行では、4月9日から、植田新総裁と2人の新副総裁による体制がスタートしました。

4月20日、21日には新体制下での初めての支店長会議があり、私も参加してきました。同会議で報告された各地域の経済情勢を踏まえた新しい経済展望レポートは、今週末に行われる金融政策決定会議後に発表されますので、その結果にも、ぜひ注目してください。

私自身は、この4月から33年目の銀行生活が始まりました。キャリアの中では、業務継続（BCP）や、紙幣にかかわる発券局の経験が長いのですが、内部管理部署の経験も相応にあり、経営企画や人

展望レポートに注目を

事関係に加えて、「検査室」という部署にも所属していました。

日本銀行組織規程上は、本店及び支店その他の事務所の事務の処理の検査に関する事務をつかさどる」とされています。ここでいう検査とは、民間企業では「内部監査」に当たるものです。

日本銀行が公表している、役員の担当業務と本店部署（局室研究所）において、検査室は、総裁が直接担当している本店唯一の部署となっています。

検査室では、事務の適正な処理、各種事務リスクの適切な管理、職務の公正な遂行などの観点から検査を行い、この結果は、政策委員会に報告しています。

検査の仕事は、自分の性格に合っていたと思うのですが、今月は立場を替えて、神戸支店長として初めて検査を受けています。検査は、組織運営上必要なことですので、真摯に対応しています。